

平成21年度 第12回 岩槻区区民会議・議事録

日時・場所

日 時 平成22年3月11日(木) 14:00～15:30

場 所 岩槻区役所第2別館1階 多目的室

出席者

(委員：20名 敬称略、50音順)

遊馬芳子、大澤温興、大塚勇、川端正明、久保田士朗、桑原博、小堤英雄、
白川美恵子、須藤順子、関根實、千原康正、千葉マサ子、戸塚順子、中村金司、
長谷川ます代、林久子、深井幸子、細野和江、堀切八千代、矢萩邦夫

(事務局：8名)

菊地区長、浅見副区長、田島区民生活部長、新井健康福祉部長、
小宮山コミュニティ課長、安藤副参事、細田課長補佐、中村主査
コンサルタント(剣持・横山)

次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 区長あいさつ

4. 報告事項

(1) 第11回岩槻区区民会議議事録について

(2) 人にやさしいまちづくり部会の報告

(3) いわつき魅力づくり部会の報告

(4) 広報部会の報告

(5) 区民会議岩槻散策実行委員会の報告

5. 議事

(1) 岩槻区へ地球温暖化防止対策指南書の提供等について

6. その他

7. 閉会

会議の概要

1．開会

(白川副会長より開会のあいさつがあった。)

2．会長あいさつ

(大塚会長よりあいさつと欠席者の確認があった。)

3．区長あいさつ

(菊地区長よりあいさつがあった。)

4．報告事項

(1) 第11回岩槻区区民会議議事録について

(資料：平成21年度第11回岩槻区区民会議・議事録)

会長より、第11回区民会議の議事録について、訂正意見を踏まえ修正済みのものを配布していること、この場で訂正意見がなければ、公開する旨の説明があった。

(2) 人にやさしいまちづくり部会の報告(資料：人にやさしいまちづくり部会会議録)

部会長より報告があった。

「地球温暖化防止対策指南書」について、記述の内容などを検討し、修正意見を付したうえで、区民会議だより「まちづくりの“め”」第13号に掲載してもらうこととした。

次のステップとして区内のサロンを見学することとなり、見学先を加倉地区の「ふれあい友の会」、東岩槻地区の「さくら会」、本町自治会館の「いずみ会」とした。

危険箇所の解消に向けた取り組みについては、各自で気がついた箇所等を記録しておき、今年度も継続的に取り組むこととした。

平成22年度の部会活動については、高齢者サロン、危険箇所の解消について継続的に取り組んでいくほか、環境問題への取り組みも考えていくこととした。

(2) いわつき魅力づくり部会の報告(資料：いわつき魅力づくり部会会議録)

部会長より報告があった。

吊るし飾りについては、愛称を「つきのひいなかざり」とすることとなった。皆さんにも

アイデアを出して頂き、感謝申しあげたい。また、これを一過性の取り組みとするのではなく、ボランティアの協力を得て、継続的な取り組みとなるよう育てたいと考えている。去る1月20日に実施した、藤岡市「道の駅(ららん藤岡)」、本庄市「まちの駅」、行田市「足袋蔵のまちづくり」への視察研修の感想等について、意見交換した。その中で、ネットワークの大切さ、視察研修の成果を岩槻のまちづくりにどう活かしていけるか考えるべき、岩槻らしい実践のあり方は何か、といった意見が出された。

これまでの取り組みの成果を活かして、平成22年度の活動を進めていく。提言については、平成23年度予算への反映をめざし夏までに急いでまとめるもの、そうでないものを整理したい。また併せて、行政に提言するもの、区内の団体等に呼びかけるもの、区民会議が行うものの整理もしたいと考えている。

(4) 広報部会の報告

部会長より報告があった。

区民会議だより「まちづくりの“め”」第13号については、本日お配りしたゲラ刷りのとおり仕上がり、昨日、3月10日より印刷に入っている。原稿執筆等でご協力頂いた委員には、この場をお借りしてお礼を申しあげたい。

先般、岩槻区区民会議のホームページ開設に向け、専門委員会を置くことをご了承頂いたところであるが、いろいろと情報を収集していく中で、難しい問題も出てきた。

このため、来年度になるが、市長ならびに区長、本庁コミュニティ課・ホームページの担当課といった関係先に対し、ホームページの必要性などを説明した文書を提出したいと考えている。

会 長：部会からの報告に対し、何か意見・質問はあるか。

委 員：「地球温暖化防止対策指南書」についてだが、一般の区民の方への配布は、もう始まっているのか。

事務局：本日ご承認を頂ければ、区役所コミュニティ課窓口にての配布と区役所ホームページへの掲載を始めたいと考えている。

委 員：「つきのひいなかざり」についてだが、既に商標登録されていて、使用料を請求される懸念はないか。また、今後の話としても、公文書に記載して“公知の事実”とする手段を講じるなど、対抗する手段を考えておいた方が良い。

委員：インターネットで調べた限りでは、「ひいなかざり」はあっても、「つきのひいなかざり」はないようだ。

委員：インターネットの検索でヒットしなくても、商標登録されている懸念はあるので、一応、確認しておいた方が良い。また、今は商標登録されていなくとも、今後、誰かに商標登録されてしまう可能性があるため、先にも述べたとおり、“公知の事実”とする手段を講じた方が良い。

事務局：参考までに、区民会議だより「まちづくりの“め”」第13号に、「つきのひいなかざり」については掲載される。

コンサルタント：いずれにしても、確認した方が良いと思う。

委員：了解した。対応を研究したい。

事務局：ところで、議事録には「つきのひいなかざり」とあり、一方、区民会議だより「まちづくりの“め”」第13号には「つきのひいな飾り」とあるが、平仮名と漢字のいずれが正しいのか。

委員：「つきのひいなかざり」と、平仮名で表記するのが正しい。

会長：そうすると、区民会議だより「まちづくりの“め”」第13号の記事が誤っていることになる。コンサルタントに聞くが、修正は可能か。

コンサルタント：既に印刷段階に入っており、私の手を離れている。事務局から、印刷事業者へ修正依頼をしていただくことになろうかと思う。

事務局：印刷事業者へ修正依頼する。

会長：他に、何か意見・質問はあるか。私から意見を述べると、これからはやはりITの時代であるから、ホームページはぜひ必要だと考えている。それから、関連して来年度の区民会議だより「まちづくりの“め”」であるが、市の予算削減により、変更になりそうである。これまで他区区民会議の広報紙は4ページで、岩槻のみ6ページであった経緯もあるし、皆さんご了解願いたい。

一同：(異議なし)

(5) 区民会議岩槻散策実行委員会の報告

事務局より報告があった。

これまでお話ししてきたとおり、3月18日に、他区の区民会議委員をお招きして散策会を実施する。当初、他区区民会議からの参加者を30名程度と見込んでいたが、会長が全

区の区民会議本会議に出席され、願いをされたおかげをもって、57名もの参加が得られることとなった。

人数が増え嬉しい反面で、安全管理や、コースである細野人形店に全員入りきらないなどの問題も生じた。このため、A班・B班の2グループに分けるものとし、それぞれに岩槻区区民会議委員が案内役として付くこととなった。

当日の役割分担は、資料に示したとおりである。受付係は岩槻駅に8時30分、駐車場係は、恐縮だが8時に集合をお願いしたい。

会 長：事務局からの報告に対し、何か意見・質問はあるか。このようなイベントを通じ、各区の委員が一同に会するのは初めての試みである。当日は、できるだけ多くの委員の参加をお願いしたい。

委 員：申し訳ないが、子どもが通う高等学校の説明会があり、当日は欠席する。

会 長：了解した。他にいかがか。

委 員：午後の意見交換には、資料に記載された担当以外の委員も出席可能か。

会 長：もちろんである。午後の意見交換には、全員出席をお願いしたい。

5．議事

(1) 岩槻区へ地球温暖化防止対策指南書の提供等について

事務局より説明があった。

岩槻区では、今年度ISO14001を取得した。その取り組みの一環として、区民に対する広報活動をしなければならない。そこで、区民会議より区役所に「指南書」を提供するものとし、これを区民会議だより「まちづくりの“め”」第13号に掲載したらどうかと考えた。

掲載に先立ち、内容については人にやさしいまちづくり部会が検討した。その際の修正意見を踏まえて手直したものを、本日、皆さんにお示ししている。

このような内容で差し支えなければ、ご承認を頂きたい。

会 長：事務局からの説明に対し、何か意見・質問はあるか。

委 員：このような取り組みは、雑巾に例えると、はじめのうちは濡れていてよく絞れても、2年目、3年目になると乾いた雑巾のようになって、なかなか実効があがらない。

厳しいところだと思うが、「指南書」を配ることには異存はない。

委員：参考までに、部会では、数字の表現について意見を申しあげた。

委員：文字の表現だが「はじめて見よう」は、「始めてみよう」ではないのか。

会長：字句の表現は、事務局にて再度確認してもらいたい。他に意見・質問はあるか。

委員：実効がともなうよう、願っている。

委員：自分ではできているかな、と思うが、多くの人に広めていくことが大切だ。

委員：「指南書」という呼称がどうなのかな、という想いはあったが、巻物ふうであるし、構わないかと思う。また、このほか区民会議の役割を考えると、第2段階として、壁面緑化に対する助成制度などを、現在は市の所管がバラバラでわかりにくいのだが、これを一覧化して示せばわかりやすくて良いと思う。

会長：なるほど。他に意見・質問はあるか。なければ、現状の「指南書」に若干の修正を加え、これを区民会議より区に提供することとしてよろしいか。

一同：(異議なし)

6. その他

コンサルタントより、以下について説明があった。

活動報告書についてだが、今回は素案をお示しするので、ご検討頂きたい。終了していない会議や事業があるので一部記載が抜けているが、それらが終了し次第、文章・写真などを掲載する予定である。

今後、年度末から4月初頭にかけて案を作成し、新年度の第1回区民会議で確認していただいた後、校正、印刷の運びとなる。

事務局より、以下について説明とお知らせがあった。

先般、区役所ロビーにて、やまぶきまつりで使用したパネルを展示し、大きな反響があったところである。今回はこれを太田小学校に展示し、児童がアンケートに答えてくれたので、各部会において集計・分析されたいかがかと思う。

区では、区長マニフェストによる取り組みの成果を検証するためのアンケートを実施する。これは、区内の20歳以上の方を無作為に1,500名抽出して行うものだが、その他に、区民会議委員からもご意見を頂きたく思っている。詳細については今後お知らせするので、ぜひ、ご協力をお願いしたい。

「元荒川ウオーク」が、3月28日に開催される。区民会議も実行委員として参画しているイベントであるので、皆さん、ぜひご参加頂きたい。

会 長：ただいまの説明とお知らせに対し、何か意見・質問はあるか。

委 員：活動報告書についてだが、催し物を掲載する基準を示してほしい。

ｺﾝﾀｸﾄ：区民会議が自ら実施した催し物のほか、実行委員等として参画したものを掲載している。

委 員：「いわつき“夢”コンサート」は掲載されないが、「ひなまつりふれあいコンサート」は掲載される、という理解でよろしいか。そうすると、3月28日の「元荒川ウオーク」も、掲載されることになるのではないか。

ｺﾝﾀｸﾄ：そのような理解で結構である。「元荒川ウオーク」についても、現在の案では目次に記載されていないが、開催概要などを掲載することとする。

委 員：「参考資料」に「コミュニティ会議一覧」が掲載されることになっているが、区民会議の活動報告書なのであるから、これは不要ではないか。

委 員：「参考資料」であって報告書の本文ではないし、読む人は情報として知りうるわけであるから、掲載しても構わないのではないか。

委 員：私はコミュニティ会議連絡会に参画しているが、区内にはコミュニティ会議以外にも数多くの団体がある中、区民会議だより「まちづくりの“め”」や活動報告書に掲載して頂くのは、正直なところ、申し訳ないという気持ちがある。

会 長：ただいまの意見を総合すると、「コミュニティ会議一覧」は削除したいと思う。

委 員：このような機会を捉え「コミュニティ会議」について知らせていかないと、区民会議だより「まちづくりの“め”」に掲載されている団体のことが、区民に理解されないと思う。

会 長：お気持ちはわかるが、それは別の手段も講じつつ、周知を図っていくものだと思う。

委 員：「いわつき魅力づくり部会」と「人にやさしいまちづくり部会」の掲載順だが、このようにした理由は何か。

ｺﾝﾀｸﾄ：部会活動の掲載順は、特に決まったルールがなかったように思う。そのため、便宜的に50音順としている。

委 員：「やまぶきまつり」の内容について、「参加型アンケート」を実施したことを付け加えて頂きたい。

コンサルト：了解した。

委員：昨年度活動報告書の委員名簿を見ると、各種団体選出の委員と、コミュニティ会議選出の委員の区分がわかりにくい。今年は、わかるようにしたらどうか。

会長：なるほど、意見として伺っておきたい。他に何か意見はあるか。

一同：(意見・質問なし)

会長：それでは以上をもって第12回区民会議を終了するが、閉会に先立ち、まず、先般の「ひなまつりふれあいコンサート」には650から700人も参加者があり、大変に盛況であったことをご報告するとともに、ご協力頂いた委員には、感謝を申しあげたい。次に、次回からいよいよ平成22年度の区民会議活動となるが、部会での検討事項など、意見を持ち寄ってご参集頂きたく思っている。

7. 閉会

(矢萩副会長より、閉会のあいさつがあった。)

次回開催予定

平成22年度第1回区民会議は、平成22年4月20日(火)14:00より、多目的室にて開催する。

以上